



奈良県感染症情報

令和5年 第17週(4月24日～4月30日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(4月)
- 屋外ではマダニに注意しましょう

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.71	(5.76)	→	→	↗	↓
2	RSウイルス感染症	2.38	(2.59)	↑	↑	↑	↑↑
3	インフルエンザ	0.76	(1.16)	↓	↓	↓	↓
4	手足口病	0.50	(0.29)	↑↑	↑↑	↑↑	→
5	A群溶連菌咽頭炎	0.35	(0.53)	→	↘	→	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

第17週の新型コロナウイルス新規感染者数は787名で、前週の792名からほぼ横ばいです。

インフルエンザの感染者は、定点あたり報告数が0.76となりました。今シーズンの流行は収束傾向と考えられます。

RSウイルス感染症の報告数が、県北部地区と中部地区でやや多い傾向が続いています。重症化しやすい乳幼児のいる家庭では手洗い等の感染防止への配慮をお願いします。

手足口病の報告数が、県北部地区と中部地区で増加傾向にあります。手足口病は、手、足および口腔粘膜などに現れる水疱性発疹が特徴のウイルス性感染症で、感染経路は接触感染と飛沫感染と言われていす。患者から検出されるウイルスには多様性があり、流行における主要なウイルスは年によって異なります。主に夏季に流行がみられるため、これからの季節には注意が必要です。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(令和5年4月) ◆

*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
インフルエンザ AH3	4	3			インフルエンザ(7)

◆ 屋外ではマダニに注意しましょう ◆

若葉が美しい季節になりアウトドア活動などに出かけたくになりますが、気をつけていただきたいことがあります。春から秋にかけては吸血性のマダニの活動が盛んになり、屋外レジャーや農作業等でダニの生息場所に立ち入ることで咬まれる機会が増加します。ダニが病原体を保有していると、咬まれた人が病気を発症するおそれがあります。日本ではライム病や日本紅斑熱などのダニ媒介性感染症が発生しており、草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入る場合には注意しましょう。服装は、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

もし、マダニに咬まれた場合は、つぶしたり無理に引き抜いたりせず、すみやかに皮膚科等を受診し処置を受けてください。その後数週間は体調の変化に注意し、発熱等の症状があれば医療機関で診察を受けましょう。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 17 週 4 月 24 日 ~ 4 月 30 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6		
インフルエンザ	42 (0.76)	16 (1.14)	16 (1.14)	3 (0.27)	4 (0.40)	3 (0.50)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	3		
RSウイルス感染症	81 (2.38)	11 (1.22)	20 (2.22)	29 (4.14)	19 (3.17)	2 (0.67)		
咽頭結膜熱	7 (0.21)	1 (0.11)	3 (0.33)	1 (0.14)	2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	12 (0.35)	4 (0.44)	2 (0.22)	3 (0.43)	1 (0.17)	2 (0.67)		
感染性胃腸炎	194 (5.71)	37 (4.11)	47 (5.22)	36 (5.14)	69 (11.50)	5 (1.67)		
水痘								
手足口病	17 (0.50)		12 (1.33)	5 (0.71)				
伝染性紅斑								
突発性発しん	11 (0.32)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	5 (0.83)			
ヘルパンギーナ	6 (0.18)	1 (0.11)	2 (0.22)	3 (0.43)				
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎	1 (0.10)		1 (0.33)					
流行性角結膜炎	4 (0.40)	1 (0.33)		3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1		
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1)、 侵襲性肺炎球菌感染症1件(中和1)、 梅毒2件(奈良市1、郡山1)

❖ 第17週のトピックス ❖

ダニ媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男				1	2	1	3	2		1	1	7	2	2	1						23	4325
	女	1		2					4			4	5		1	1				1		19	3736
RSウイルス感染症	男	1	9	13	4	8	8															43	226
	女	1	7	9	4	9	6	2														38	163
咽頭結膜熱	男				2	1	1			1												5	53
	女			1		1																2	37
A群溶連菌咽頭炎	男			1			3	3							1							8	117
	女					1							1		2							4	62
感染性胃腸炎	男		8	20	14	10	9	10	9	8	1	4	6		7							106	1793
	女	1	8	15	7	12	7	6	5	4	2	3	4	4	10							88	1476
水痘	男																						17
	女																						12
手足口病	男			5	2		2															9	57
	女			3	2	3																8	43
伝染性紅斑	男																						3
	女																						1
突発性発しん	男		2	6																		8	78
	女	1		2																		3	56
ヘルパンギーナ	男			1	1			1														3	14
	女			2		1																3	8
流行性耳下腺炎	男																						4
	女							1														1	4
急性出血性結膜炎	男			1																		1	1
	女					1									1	1						3	24
流行性角結膜炎	男																					1	30
	女																						1
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						1
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

